安中市新庁舎建設工事　実施設計　概要版

令和６（2024）年　５月

1. 設計コンセプト 01
2. 計画概要 02
3. 配置計画 03
4. 平面計画 04
5. 外観・立面計画 05
6. 環境配慮計画 06
7. 計画スケジュール表 07
8. パース 08

1. 計画コンセプト

大きな方向性　：　既存庁舎を活かした機能的で「シンプル・コンパクト」なSDGs型庁舎

方向性①

将来の財政負担の軽減が図れる
シンプルでコンパクトな庁舎

方向性②

使いやすい・わかりやすい・動かしやすい庁舎

方向性③

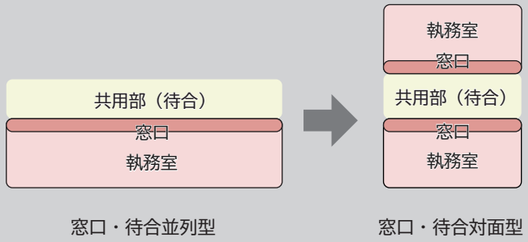
人と環境にやさしいSDGs型庁舎

方向性④

既存庁舎を活かした
新しいまちづくりの核となる庁舎

▌対面型窓口配置による共用部面積の効率化

・共用部（待合）をはさんで執務空間を配置することで、共用部の面積を縮減します。窓口に対して共用部を並列で並べるよりも共用部の面積を縮減できます。



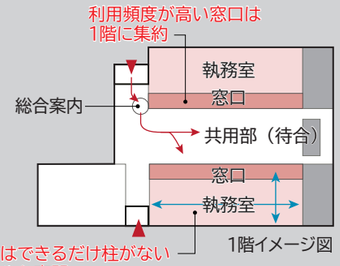
窓口・待合並列型　　窓口・待合対面型

▌空間の重ね使いによる面積の効率化

・議場については会議室等への利用も可能とし、市民利用にも対応します。
・会議室は市民利用も可能とします。
・市民利用が可能な諸室については休日利用もできるようセキュリティ計画にも配慮した配置構成とします。
・多く利用する期間が特定される諸室については、利用期間以外は会議室等で使えるようにし、面積の効率化を目指します。

▌フレキシビリティをもった執務空間
▌窓口機能の集約化・動線の短縮化

・執務エリアはできるだけ柱を少なくし、レイアウトの自由度が高い空間とします。
・特に市民の利用頻度が高い窓口は、1階に集約します。
・窓口・待合対面型とすることで、わかりやすく視認性の良い窓口空間を形成し、動線の短縮化も図れます。



1階イメージ図

▌市民の利便性向上：ウェルネスエリアの創出

・保健センターを体育館・格技場に近接して配置し、運動や予防・検診など、市民の健康づくりに貢献する施設をまとめ、ウェルネスエリアとして位置付けます。体育館や格技場を検診や予防接種の待機場所として活用する等、相互間利用により、機能の充実化を図ります。
・体育館・格技場の利用者も活用できる憩いや休憩の場として、各施設の出入口に面した場所に広場を配置します。

▌市における環境配慮技術のリーディングプロジェクト

・安中の気候風土を活かした環境配慮技術を採用し、環境性能に優れた新庁舎を計画します。
・特に日照時間が長い地域特性を活かし、自然光を建物内へ取り入れ、明るく快適な庁舎となるよう計画します。
・国が掲げる脱炭素社会に向けた取り組みに呼応するため、一次エネルギー消費量を 50％以上削減する「ZEB Ready」の達成を目指します。

安中市の気候風土	環境提案
光 豊富な日照 ・年間日照時間 2197 時間	・自然採光・西日対策 ・太陽光発電
風 穏やかな風・からっ風 ・夏期中間期：日中南東風 1.5~2.0m/s ・冬期：山から吹き下ろす強風 夜間北西風最大 10m/s 以上	・自然通風 ・エコボイド ・からっ風を避ける配置計画

▌イベント対応が可能な駐車場・外構整備

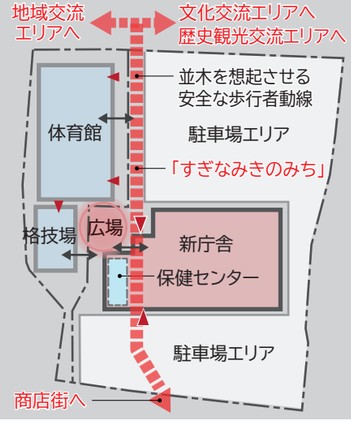
・市の祭りやイベントに対応できるように、北側道路に面して駐車場を配置します。外構の歩行空間にはベンチや安中市の花である梅を配置し、イベント時でも活用できる外構計画を行います。

▌安中らしさをもった計画

・安中にゆかりのある杉並木を想起させる並木道や、杉の型枠を使ったコンクリートなど、安中らしさにつながる外構や建築材料等を検討します。
・地震が少ない地域性もふまえながら、災害に強く安全・安心で建設コストにも有利な構造形式を提案します。

▌まちづくりに貢献：歩行空間「すぎなみきのみち」

・敷地南側には商店街が連なり、東側には文化交流エリアがあり、西側は地域交流エリアへと整備されることから、新庁舎の敷地には各エリアへのつながりを意識した安全な歩行空間「すぎなみきのみち」を整備します。
・「すぎなみきのみち」は体育館や格技場、新庁舎の出入口に面しており、それぞれの施設への安全な歩行動線も確保します。
・さらに「すぎなみきのみち」に隣接して、広場や新庁舎の共用使いができる機能を配置し、交流や賑わいの創出を図ります。



2. 計画概要

1. 計画地概要（新庁舎建設敷地）

所在地	群馬県安中市安中二丁目字町北2926番1ほか
敷地面積	12,345.36 ㎡
用途地域	第2種住居地域
防火地域等	指定なし
地域・地区等	建築基準法　第22条指定区域
	埋蔵文化財包蔵地内
建蔽率	60%
容積率	200%
日影規制	5m：5時間、10m：3時間、測定面：GL+4.0m

2. 建築概要

・旧安中高校跡地に新庁舎を建設する計画。旧安中高校の体育館・格技場は残置し、校舎・グラウンドエリアに新庁舎を計画します。

・東側道路および南側道路については、拡幅工事を実施します。

・北側道路については、既存の幅員を確保した上で、建設敷地と歩道に挟まれた植栽帯部分を敷地の一部として整理し、歩道についても改修工事を実施します。

建物別建築概要

主用途	庁舎	車庫	駐輪場屋根	バス停屋根	受水槽（ポンプ室）	ゴミ庫1	ゴミ庫2
建築面積	3,779.31㎡	83.97㎡	2.04㎡	0.80㎡	6.00㎡	12.25㎡	3.82㎡
延床面積	7,397.93㎡	79.39㎡	26.84㎡	9.60㎡	6.00㎡	12.25㎡	3.82㎡
階数	地上3階、塔屋1階	地上1階	地上1階	地上1階	地上1階	地上1階	地上1階
建物高さ	19.62m	3.8m	2.14m	2.83m	2.85m	2.27m	2.27m
構造	RC造、一部S造	RC造	S造	S造	S造	S造	S造

庁舎各階延床面積　　（EV・駐車場は延床面積に算入するが容積対象外の面積とする）

	1階	2階	3階	PH階	合計
延床面積	3214.33㎡	2811.68㎡	1348.24㎡	23.68㎡	7397.93㎡
EV部分	7.81㎡	9.20㎡	7.49㎡	-	24.50㎡
庇下駐車場部分	143.25㎡	-	-	-	143.25㎡

3. 案内図

4. 電気設備概要

電灯設備	LED照明器具、フル2線リモコンスイッチ、人感センサー等の採用
動力設備	受変電設備の配電盤2次側以降、各電源・制御盤設置、及び盤類へ至る配管・ケーブルの敷設
受変電設備	屋上に屋外型キュービクルを設置
	変圧器の総容量1,500kVA
自家発電設備	防災電源・BCP対策として屋上に非常用発電機を設置
	災害時72時間対応のため地下オイルタンクを計画
太陽光発電設備	2階屋上に太陽光10kWを計画
各種弱電設備	必要箇所に電話・情報・時計・呼出・テレビ設備を計画
映像・音響設備	会議を想定する室に映像・音響設備を設置
拡声設備	安全性に考慮し、業務放送と非常放送設備兼用
火災報知設備	消防法に準拠し、火災報知設備を計画
電気自動車用充電設備	駐車場に電気自動車の充電用として、急速充電器を設置。
構内配電線路	建物南側に引込み柱を建て、電力会社より電力の架空引込み。2回線受電にて計画
構内通信線路	電力用引込み柱を共用し、通信会社より通信の架空引込み。2回線架空引込みにて計画。

5. 空調換気設備概要

熱源設備	空冷ヒートポンプチラー
空調設備	水冷媒天井放射空調システム（1階、2階執務室）
	空気式床輻射冷暖房システム（1階エントランス・待合）
	単一ダクト空調システム（議場）
	空冷ヒートポンプパッケージエアコン（天井カセット・天井ビルトイン）
換気設備	外気処理空調機（執務室、各室、共用部）
	全熱交換器ユニット
排煙設備	自然排煙方式
中央監視	中央監視装置、BEMS、個別空調集中リモコン、自動制御設備

6. 給排水衛生設備概要

給水設備	上水：受水槽（屋外）＋加圧給水ポンプユニット方式
	雑用給水：雑用水槽（床下ピット）＋加圧給水ポンプユニット方式
給湯設備	業務用エコキュート（開放貯湯槽・給湯循環式）
	小型貯湯式電気温水器
排水設備	屋内：汚水と雑排水の合流方式　雨水分流方式
	屋外：汚水と雑排水の合流方式　雨水分流方式
衛生器具設備	節水型衛生器具
消火設備	屋内消火栓設備、不活性ガス消火設備、消火器

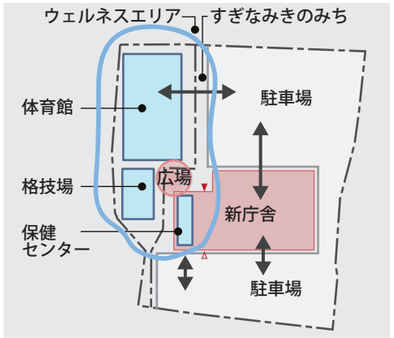
3. 配置計画

1. 基本方針

・新庁舎は旧安中高校跡地を活かし、敷地を最大限に有効利用できる配置計画とします。
・新庁舎の配置は敷地内に高低差があることからグランド側に配置し、駐車場エリアは緩やかな勾配とすることで高低差のないバリアフリーな計画とします。
・既存体育館および格技場との一体利用や連携ができるよう、新庁舎の配置計画を行います。
・駐車場や敷地全体の計画について、新庁舎や既存体育館および格技場の利用者にわかりやすく、安中らしさを持った外構計画とします。
・新庁舎がまちづくりの核となるよう、地域全体への連続性・回遊性に配慮した計画とします。

2. 市民の利便性向上を図るコンパクトな配置計画

・現在でも市民に利用され、親しみのある既存の体育館と格技場を残置し、駐車場の相互利用など敷地全体で効率的な活用ができる配置計画とします。
・体育館、格技場に近接して保健センターを配置し、運動や予防・健診等の健康づくりに貢献する施設をまとめて配置し、ウェルネスエリアとして位置づけます。各施設の相互利用を促進し、機能の充実を図ります。
・体育館、格技場の利用者も活用できる憩いや休憩の場としての広場を計画します。



3. 安中の面影を感じる安心安全な歩行空間「すぎなみきのみち」

・車両動線と明確に分離された歩行空間を「すぎなみきのみち」として整備します。
・「すぎなみきのみち」は体育館や格技場、新庁舎の出入り口に面しており、安全な歩行動線となります。
・安中市原市の旧中山道沿いに植えられた杉並木は 1844 年には 732 本あった杉の本数も現在は 13 本となっています。「すぎなみきのみち」では安中の面影を感じる工夫により、安中市の歴史を記憶として継承できる計画とします。
・安中市の花である梅をウェルネス広場に配置します。

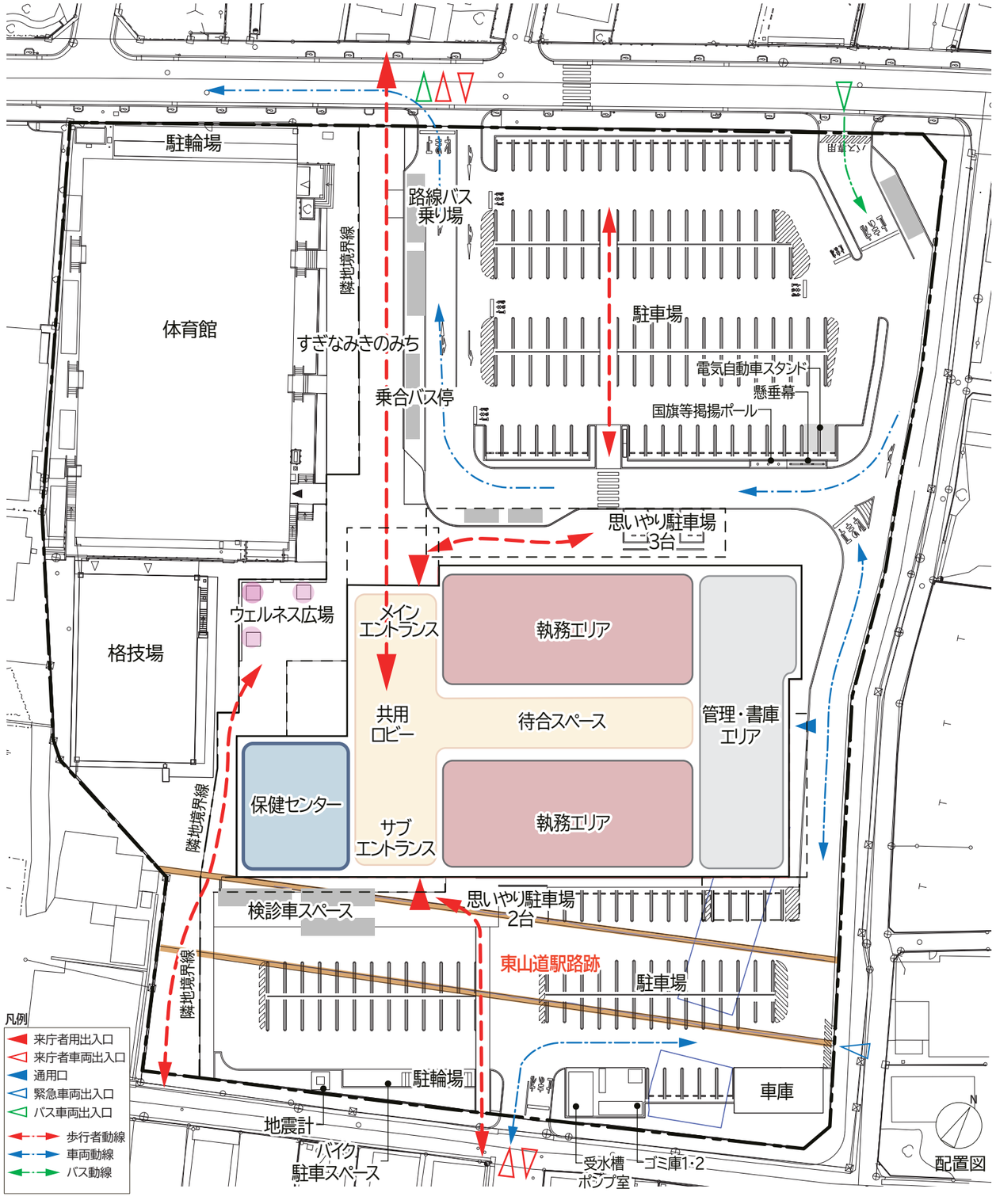
上毛かるたの「な」
許諾第 04-02108 号

4. 周辺への配慮

・近隣の居住者に与える影響を考慮し、日影や圧迫感を抑えた計画とします。
・敷地東側と南側道路については拡幅工事を行うことで緊急車両も通るゆとりのある幅を確保します。

5. まちづくりの拠点（核）となる庁舎

・新庁舎を拠点に「歴史ある街並み」が見られるエリアや旧中山道沿いの商店街への連続性・回遊性が生まれる動線計画とします。
・「すぎなみきのみち」により敷地南側にある商店街や谷津庁舎へもつながり、まちづくりに貢献できる計画とします。



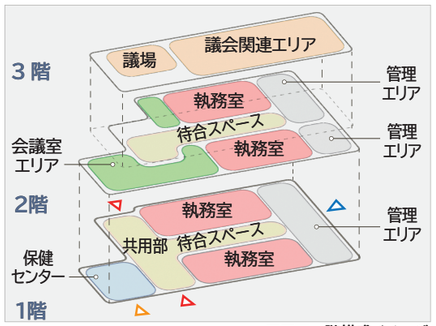
4. 平面計画

1. 基本方針

・シンプルでコンパクトな庁舎とするため、空間の重ね使いや機能的な動線計画により庁舎の床面積を抑えた経済的な計画とします。
・来庁者のだれもがわかりやすく使いやすいゾーニング計画とし、ユニバーサルデザインに配慮します。
・執務室や待合スペースについては、柱の本数が少なくオープンな空間とすることで、将来の変化にも対応できる柔軟性のある庁舎とします。
・セキュリティーに配慮した平面計画とします。

■ 明快なフロア構成

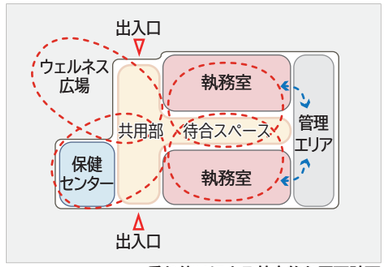
・シンプルなフロア構成とし、利用者にわかりやすく、利用しやすい庁舎とします。
・特に市民利用の頻度が高い窓口は、1階に集約します。



フロア・階構成イメージ

■ 重ね使いによる効率化

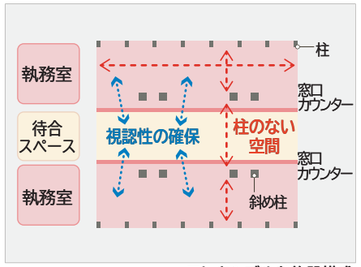
・窓口を対面型とすることで共用部の面積を縮減しながら利用者の動線を短縮化します。
・会議室を集約配置し、稼働率を考慮した規模とすることで効率的な配置を計画します。



重ね使いによる効率的な平面計画

■ 維持管理しやすい施設構成

・執務室エリアは柱の本数を少なくし、レイアウトの自由度が高い空間とします。
・自然換気や自然採光を積極的に取り入れ経済性に配慮した、明るく快適な庁舎とします。



フレキシブルな施設構成

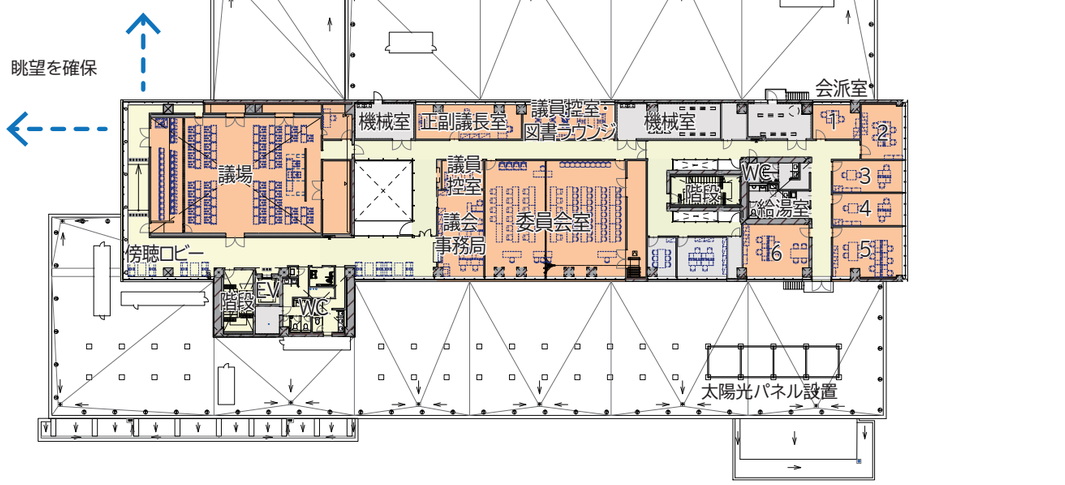
傍聴ロビー
3 階に立った時の目線が体育館よりも高くなるため、妙義山・浅間山への眺望が望むことができる計画

議場
多目的利用が可能な議場仕上げ材に県産・市産材を積極的に活用した計画

議会事務局
EV ホールからの来訪者を容易に視認可能

屋上設備スペース
設備機械を屋上に配置し、床面積を効率化

3F ボリューム
周囲への日影や圧迫感を抑えるコンパクトな形状



3階平面イメージ

・議会関連諸室を集約することでセキュリティー管理のしやすい構成
・議場は多目的利用を想定したフラット形式
・傍聴ロビーからは妙義山・浅間山への眺望がとれる計画

凡例
来庁者用出入口
通用口
保健センター出入口
執務エリア
共用部
管理諸室
会議室
議会関連諸室
保健センター

エントランス
庇により雨に濡れないアクセスが可能

待合スペース
エントランスから近い位置に市民課の待合スペースを配置

EV
エントランスからわかりやすい位置に配置
物品搬入も兼用

保健センター
健診バスから直接出入りが可能

執務室
斜め柱により柱本数の少ない、オープンな執務室。視認性に配慮した窓口

書庫
1階にまとめて配置し、収納数の効率化を図った合理的な計画

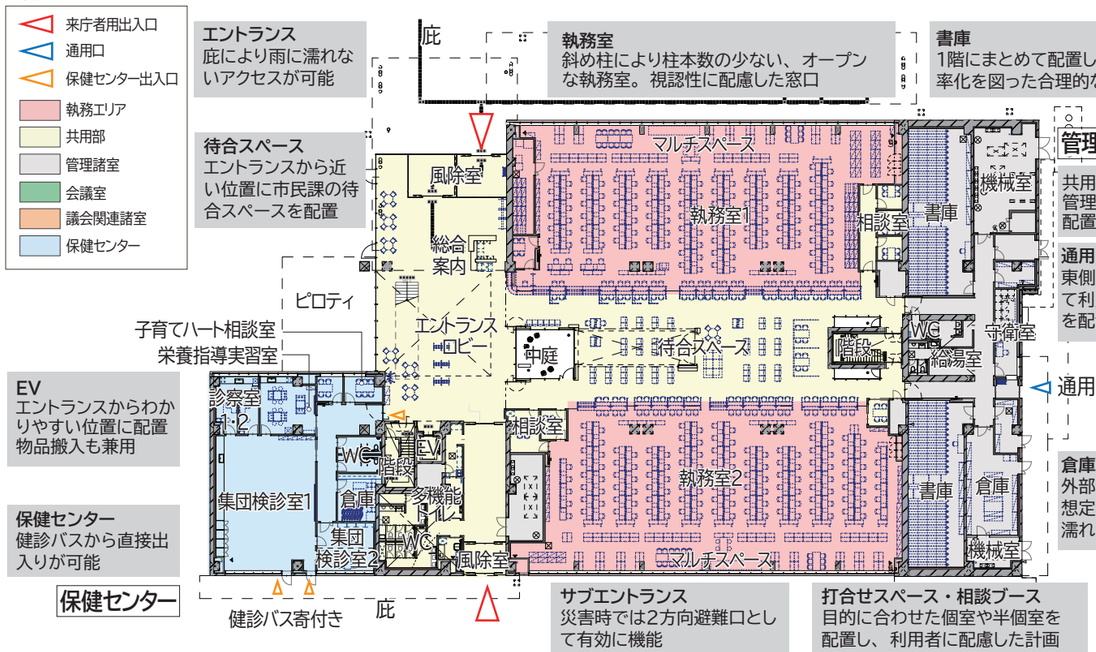
管理エリア
共用部を最小限とし、管理諸室を機能的に配置

通用口
東側に夜間窓口として利用できる通用口を配置

倉庫
外部からの出入りを想定した配置。雨に濡れない軒下空間

サブエントランス
災害時では2方向避難口として有効に機能

打合せスペース・相談ブース
目的に合わせた個室や半個室を配置し、利用者に配慮した計画



1階平面イメージ

・来庁者にわかりやすい位置にメインエントランスや総合案内を配置
・窓口エリアや保健センター、2階への動線がわかりやすいエントランスロビー
・共用ロビーは期日前投票や診察時の待合スペースとして柔軟に重ね使いが可能

待合スペース
効率化を図ったコンパクトな空間に中庭やハイサイドライトから光と風を通し、利用者の快適性を確

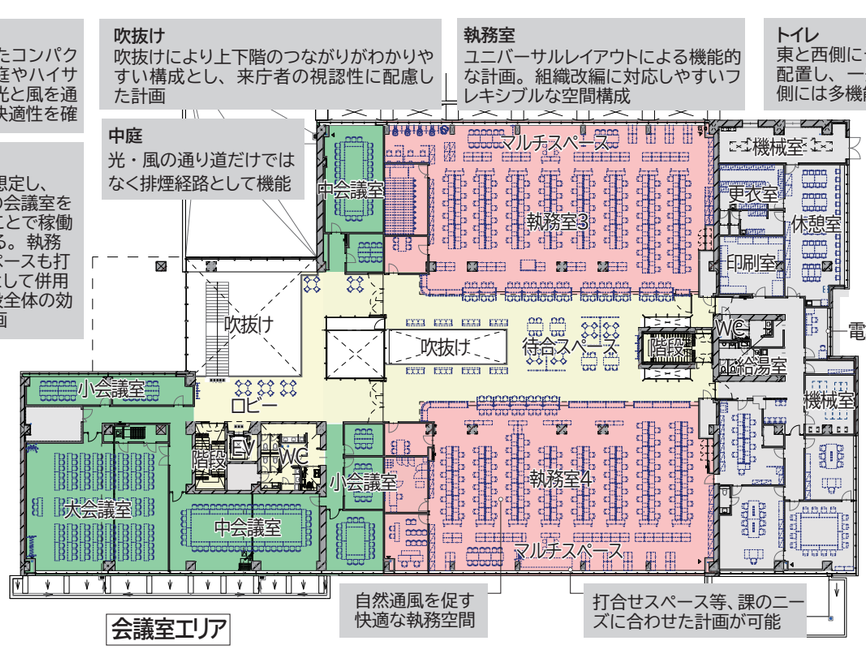
会議室
多様な利用を想定し、様々なサイズの会議室を集約配置することで稼働率の向上を図る。執務室のマルチスペースも打合せスペースとして併用することで施設全体の効率化を図る計画

吹抜け
吹抜けにより上下階のつながりがわかりやすい構成とし、来庁者の視認性に配慮した計画

中庭
光・風の通り道だけではなく排煙経路として機能

執務室
ユニバーサルレイアウトによる機能的な計画。組織改編に対応しやすいフレキシブルな空間構成

トイレ
東と西側にそれぞれトイレを配置し、一般利用が多い西側には多機能トイレを配置



2階平面イメージ

・会議室を集約することで面積の効率化を図り、稼働率の向上につながる計画
・中庭やハイサイドライトからの自然採光により、明るく開放的な室内環境
・執務エリアは柱本数が少なく将来の組織改編にも柔軟に対応できる構成

N
scale1/600

5. 外観・立面計画

1. 外装計画基本方針

1. シンプルで端正な装い

・華美な装飾はせず、後付的な要素を極力削ぎ落としたシンプルな外観を目指します。

・来庁動線や構造形態、環境性能等の機能がそのまま外観をかたちづくり、新庁舎の特徴づけを行います。

2. 市民の心の支えとなるシンボル性と安中らしさの佇まい

・構造体を活かしたダイナミックな外観形状と、「すぎなみきのみち」から建物への特徴的なアプローチ空間を計画します。

3. イニシャルコストと維持管理コストの双方に配慮した材料の選定

・時間と共に醸成され、より市民に馴染んでいく設えとなる材料を選定します。

北側外観イメージ図

6. 環境配慮計画

1. 基本方針

□気候風土を活かした環境にやさしい庁舎

・太陽の光と熱、風などの自然エネルギーの積極的な活用により、環境負荷の低減や省エネルギー化を図る環境にやさしい庁舎を計画します。
・省エネルギー、省資源に配慮した設備・機器の導入、エコマテリアル等の採用を検討します。
・日照時間や風等の特徴的な気候風土を活かした安中ならではの計画を行います。

安中市の気候風土	環境提案
光 豊富な日照 ・年間日照時間 2197 時間	・自然採光・西日対策 ・太陽光発電
風 穏やかな風・からっ風 ・夏期中間期：日中南東風 1.5~2.0m/s ・冬期：山から吹き下ろす強風 夜間北西風最大 10m/s 以上	・自然通風 ・中庭 ・からっ風を避ける 配置計画

□達成目標

・国が掲げる脱炭素社会に向けた取り組みに呼応するため、一次エネルギー消費量を 50%以上削減する「ZEB Ready」の達成を目指します。

□運用維持管理の容易な計画

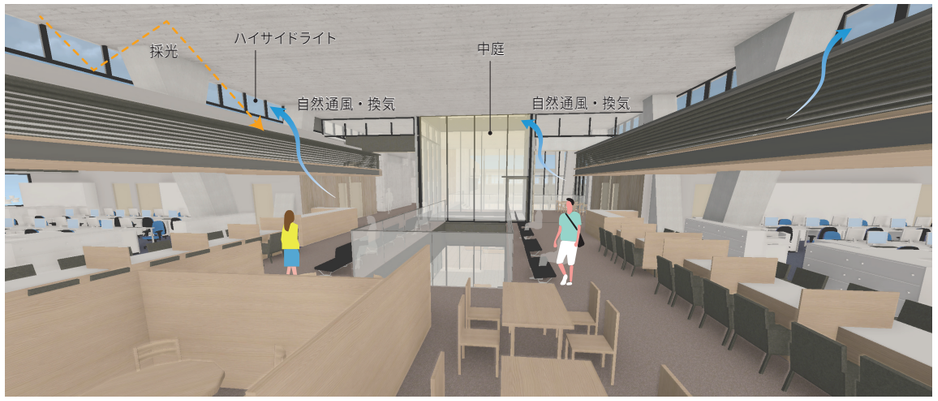
・耐久性、清掃性、節水性に優れた器具を採用します。
・LED 照明など、高寿命・高耐久の機器・材料を採用します。
・メンテナンス動線、搬出入動線を確保し、将来の機能更新に対応しやすい計画とします。

2. 基本方針実現のために備える機能・設備の考え方

・SDGs型庁舎として様々なエコアイテムを取り入れながら、快適かつ災害にも強い庁舎を目指します。

SDGsに配慮した庁舎

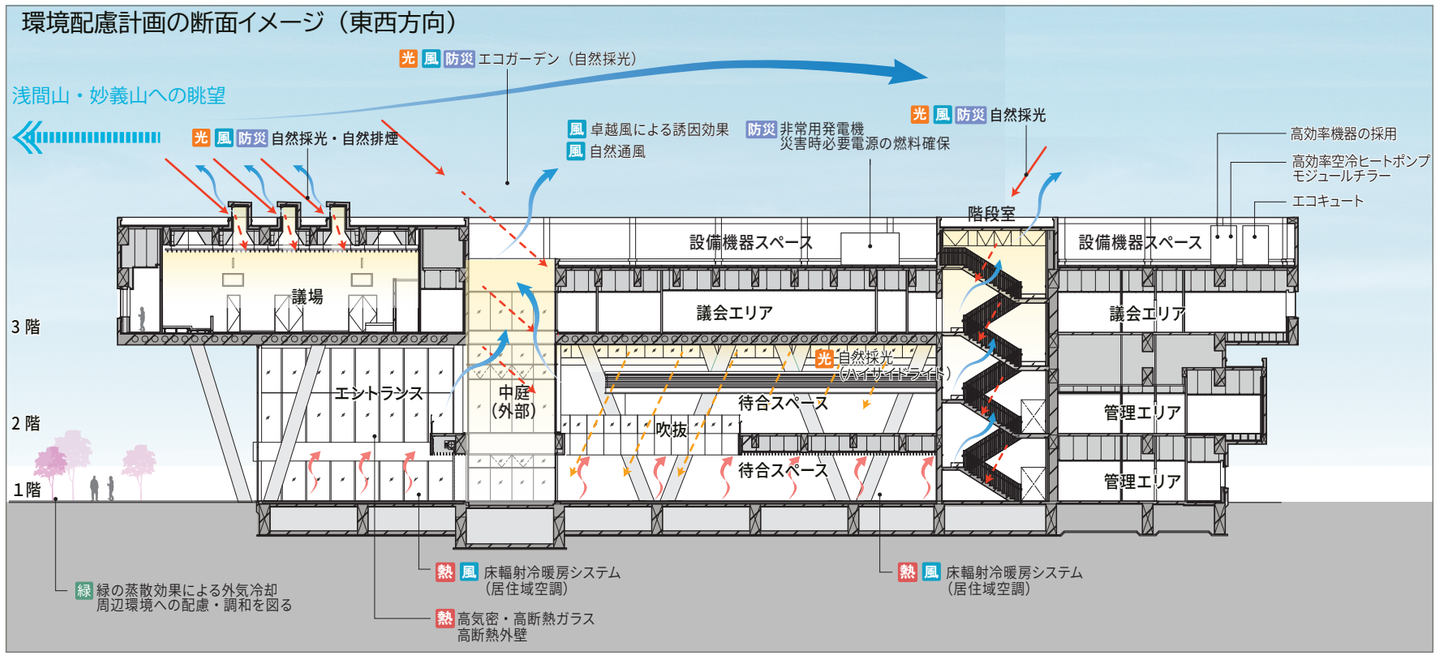
3 訪れる人、働く人にも快適な環境
7 再生可能エネルギーの利用
11 災害に強いまちづくり
12 持続可能な素材
13 省エネ、省CO_2



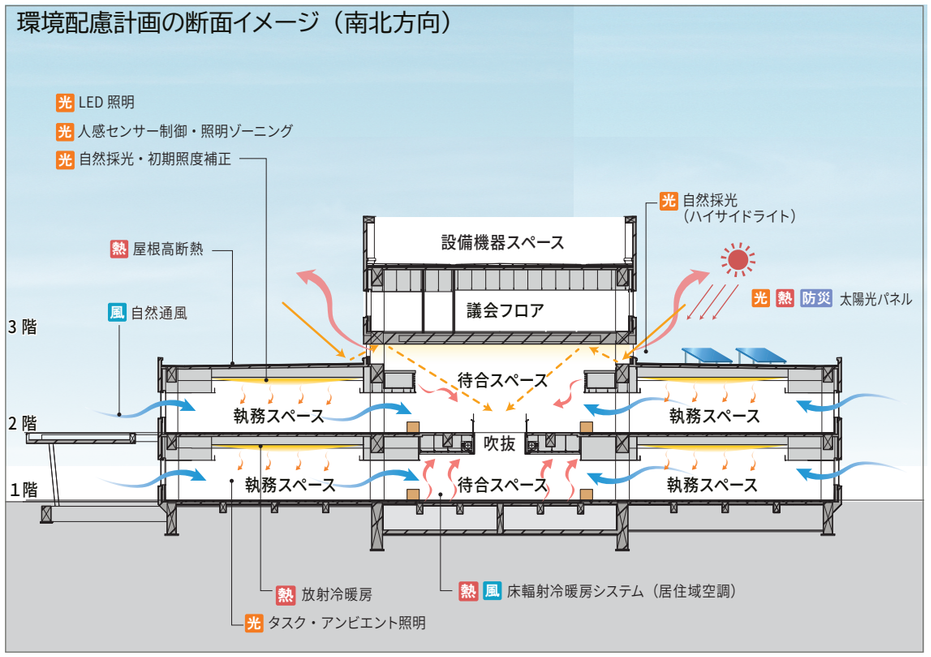
採用エコアイテムの一例

パッシブ	中庭（自然通風・自然採光）、ハイサイドライト（自然通風・自然採光） 卓越風の誘因効果による自然換気、外壁・床・ガラスの高断熱
再生可能エネルギー	太陽光パネル
省エネ	放射冷暖房、タスクアンビエント、LED 照明・昼光・人感センサー 節水器具、床輻射冷暖房システム（居住域空調） CO_2濃度による変風制御、外気冷房、高効率機器、全熱交換機、エコキュート ELV の可変電圧可変周波数制御、電力回生制御
運用改善	BEMS による見える化

環境配慮計画の断面イメージ（東西方向）

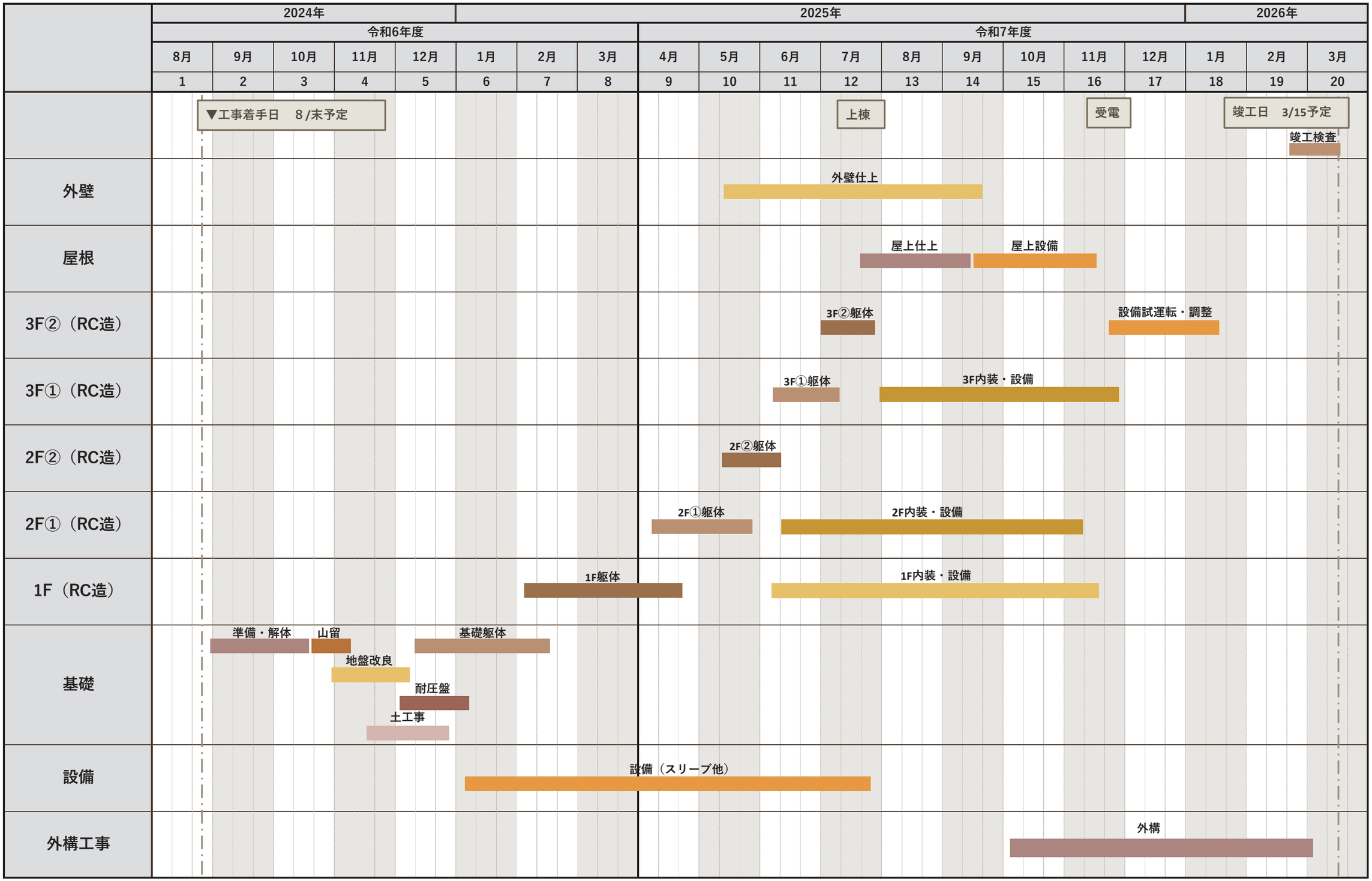


環境配慮計画の断面イメージ（南北方向）



7. 計画スケジュール表

1　事業スケジュール



鳥瞰イメージ

北側外観イメージ：すぎなみきのみちから見た新庁舎

エントランスイメージ：施設構成がわかりやすい市民ファーストな庁舎

1階待合スペースイメージ

2階待合スペースイメージ

執務室イメージ

議場内観イメージ

南側外観イメージ